

【一般男子8000円】序盤から飛ばし2分0秒74で優勝した渋谷航大（左）



題。我慢できるようにって、初の全国を目指したい」ときっぱりと話した。

安定した走り維持

一般女子3000円優勝の千頭可奈の話。ラスト1000円からは根性で走れたが、序盤から中盤の伸びがまいちだった。きょうの風は問題ないが、全道大会は悪天候が多いので、天候に左右されない安定した走りと最適なペース配分を維持して、10分を切りインターハイ出場を目指したい。

強い気持ちで逆転

中学男子1500円優勝の篠田啓達（帯西陵3年）の話。自己ベスト（4分28秒）には4秒届かなかったが、風がある中ではまずまずのタイムだった。残り1周でピッチを上げ、ラストの直線は勝ちたいという強い気持ちで逆転できた。最後までペースが落ちなかった。少しは成長できたのか

追い風も味方した。1人でレースをつくれたし、まずまずの内容だった」。一般男子8000円の渋谷航大はシーズン最初の屋外大会で、自己ベストに1秒58に迫る2分0秒74を記録した。

持ち味はラスト2000円

走っていたが、ラスト2000円まで力が思い通りに入らず「ラストスパートが伸び切れなかった」と反省も。

この1年間で10秒タイムを縮めたという。「今年は4分50秒で優勝を」と、昨年2位だった全道大会の雪辱に闘志を燃やす。

最初から飛ばし

「内容まずまず」

一般8000円の渋谷

のスプリント力。この日は体力を温存せずにスタートから飛ばした。タイムレースで争われた同種目。3組中の1組に登場し、同組で

○…「最後の1000円は